

6月18日開催の日印産連グリーン購入検討会で下記の検討を行いました。

1. 日印産連「オフセット印刷サービス」グリーン基準改定の検討状況について

グリーン購入法及びエコマークが「印刷用紙」の調達基準に「総合評価値」を採用したことにより、日印産連では、印刷受注者及び印刷発注者の混乱を避けるため、日印産連「オフセット印刷サービス」グリーン基準の用紙の「総合評価値」の導入を検討する。

また、PP貼りは、リサイクル適性ではBランクであるが、VOC発生抑制・長期使用・CO2削減の側面ではAランクのニス引きやプレスコートより優れている点もあり、今後、光沢加工業界のたたき台をもとに基準の見直しを検討する。

2. デジタル印刷グリーン基準策定の検討状況について

デジタル印刷が普及し、国のグリーン購入法においてもデジタル印刷の調達判断基準が検討される中、日印産連では「オフセット印刷サービス」グリーン自主基準の一項目にデジタル印刷の項目を追加し、デジタル印刷グリーン基準を進めている。今後、メーカーへのヒアリングを行い、半年～1年をかけて協議する予定である。

3. グリーン購入法『印刷』基準の見直しについて

環境省は、グリーン購入法の印刷関連の調達基準において、昨年度の印刷用紙の調達基準の見直しに続き、本年度は国へ印刷物を納品する際の調達基準の見直しを行なう予定である。環境省が想定する基準の見直し項目は大きく次の3点であり、日印産連のグリーン基準を参考にする考えである。

① 印刷加工・工程の調達基準の創設

印刷加工・工程（プリプレスから印刷、後加工まで含む）において、現在は配慮事項であり、調達基準でないため、印刷加工・工程の調達基準の創設を検討する。

② デジタル印刷の調達基準の創設

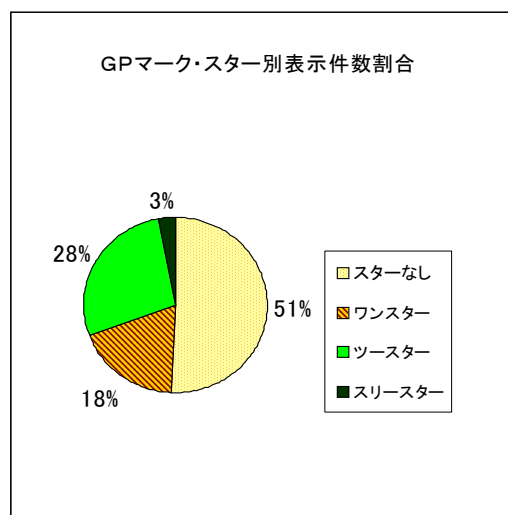
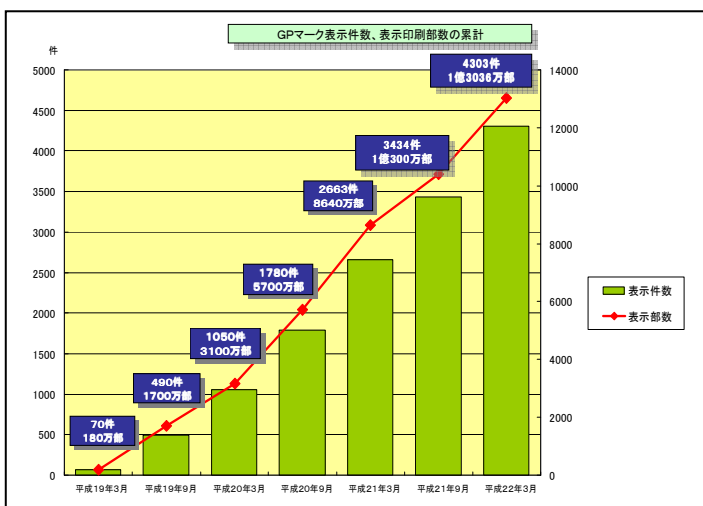
報告書など小部数の印刷物はデジタル印刷が増えているため、デジタル印刷の基準の創設を検討する。

③ リサイクル適性に関する基準の修正

リサイクル適性を表示する印刷物の範囲を明確にするため、リサイクル適性の基準の修正を検討する。

4. GP認定製品及びGPマーク・スター表示の普及状況について

GP認定製品の普及に関する調査では、本年3月時点の累計で4,303件の印刷物にGPマークが表示され、1億3,036万部の印刷物が全国に普及していることがわかった。また、昨年10月から始まったGP製品の環境配慮の度合いに応じたスター表示については、スター別の表示割合で「スターなし」が51%、ワンスターが18%、ツースターが28%、スリースターが3%であることがわかった。



以上